



▲満開の桜の下でグラウンドゴルフをする参加者

満開の桜を楽しむ

一町田さくらまつり

3月29日、「一町田さくらまつり」が一町田地区コミュニティセンター周辺で行われ、約200人が来場しました。まつりでは、地元子どもたちがピアノや吹奏楽の演奏を披露。美しい音色を奏でる子どもたちに、観客から大きな拍手が送られていました。また、バザーやお楽しみ抽選会のほか、グラウンドゴルフ大会が行われ、来場者は満開の桜を満喫しながら楽しいひとときを過ごしていました。

天草キリシタン館の来館者が400万人突破

来館400万人目は加茂忍さん、妙子さんご夫婦

3月14日、昭和41年に開館した天草キリシタン館の来館者が400万人を突破しました。この記念すべき400万人目の来館者は、兵庫県にお住まいの加茂忍さん、妙子さんご夫婦。ご夫婦は、県内や長崎への3泊4日の旅行の途中で天草を訪れ、歴史に興味をお持ちとのことで同館に立ち寄られました。市から認定書や記念品として大型客船の乗船券、同館の永久観覧無料券などが贈られました。

忍さんは、「驚きましたが、良い思い出になりました」と話していました。



▲来館者400万人目の加茂忍さん(左)と妙子さん(右)ご夫婦

交通ルールを守って事故を防止しよう!

春の全国交通安全運動出発式

4月4日、「平成26年春の全国交通安全運動出発式」が倉岳体育館で開催され、交通指導員や防犯連絡員など約200人が出席しました。同運動が始まる、4月6日から同15日までの期間を前に行われたもの。式典では、倉岳小学校に通う新入学児童に黄色い帽子とランドセルカバー、倉岳中学校の新入学生徒には反射タスキを市から贈呈。その後、天草警察署の白バイを先頭にパトカー、青パトによるパレードを実施し、交通事故防止を呼びかけました。



▲パレードに出発するようす

スポーツ・文化振興の拠点を目ざして

天草市民センター体育館が完成

建て替えが行われていた「天草市民センター体育館」が3月に完成し、4月1日から利用が始まりました。新しい体育館は、鉄骨造り3階建てで、延べ床面積は4,182㎡。1階の床面積は1,540㎡で、バドミントン9面、バレーボールでは3面のコートができます。

また、2・3階にはあわせて1,000席の観覧席を設置しています。半面、1/3面での利用もできますので、皆さんぜひご利用ください。利用の申し込みや使用料などの詳細は、天草市民センター☎4125へ。



▲完成した天草市民センター体育館の外観



◀体育館の内部

機敏な動作を披露

天草市消防操法大会 牛深地区予選

6月1日に開催される県消防協会天草市支部消防操法大会の牛深地区予選が3月30日、久玉町の南消防署で行われました。同予選には、同地区内の消防団7分団から33チームが出場。1チーム5人(補助員含む)で、あらかじめ設置された火点へ小型ポンプを始動し放水、操作開始から火点が倒れるまでの速さや操作の正確さを競いました。結果は、第2分団第4部(宮崎地区)が優勝しました。



▲機敏に操作する隊員たち

歩きながら春を満喫

下田南ウォーキング大会

3月16日、「下田南ウォーキング大会」が開かれ、地区内外から62人が参加しました。下田南地区振興会が、地元を歩きながら住民の親ぼくを深めようと毎年開催しているもの。この日は晴天に恵まれ、参加者は“はりきり(6km)”と“ゆったり(3km)”の2コースに分かれて同地区内を散策。田園に咲く菜の花など春の景色を満喫しながら、思いおみのペースで歩いていました。



▲散策を楽しむ参加者